

科目名	実習Ⅱ-A	整理番号	
	ファッションクリエイター	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	180	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムであるジャケット(チャック柄テーラードカラー・ショールカラー)、コート(ラグランスリーブ・フライフロント)、カットソー、部分縫いにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。

【科目の概要】 ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。
企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ

前期

後期

1・2	部分縫い 箱ポケット	1・2	カットソー概論(ミシン講習)
3・4	部分縫い ファスナーポケット	3・4	カットソーパターン
5・6	部分縫い 雨蓋ポケット	5・6	カットソー裁断
7・8	ショールカラーのジャケットの製図	7・8	カットソー縫製
9・10	ショールカラーのジャケットの裁断	9・10	カットソー縫製
11・12	ショールカラーのジャケットの縫製	11・12	チェックテーラードジャケットの裁断
13・14	ショールカラーのジャケットの縫製	13・14	チェックテーラードジャケットの裁断
15・16	ショールカラーのジャケットの縫製	15・16	チェックテーラードジャケットの縫製
17・18	ショールカラーのジャケットの縫製	17・18	チェックテーラードジャケットの縫製
19・20	ショールカラーのジャケットの縫製	19・20	チェックテーラードジャケットの縫製
21・22	ショールカラーのジャケットの縫製	21・22	チェックテーラードジャケットの縫製
23・24	部分縫い 薄物始末	23・24	チェックテーラードジャケットの縫製
25・26	部分縫い 薄物始末	25・26	チェックテーラードジャケットの縫製
27・28	ショールカラーのジャケットの縫製	27・28	チェックテーラードジャケットの裁断
29・30	ショールカラーのジャケットの縫製	29・30	チェックテーラードジャケットの裁断
		31・32	チェックテーラードジャケットの縫製
		33・34	チェックテーラードジャケットの縫製
		35	チェックテーラードジャケットの縫製
		36・37	ラグランスリーブのコートの製図
		38・39	ラグランスリーブのコートの裁断
		40・41	ラグランスリーブのコートの縫製
		42・43	ラグランスリーブのコートの縫製
		44・45	ラグランスリーブのコートの縫製
		46・47	ラグランスリーブのコートの縫製
		48・49	ラグランスリーブのコートの縫製
		50・51	ラグランスリーブのコートの縫製
		52・53	ラグランスリーブのコートの縫製
		54・55	ラグランスリーブのコートの縫製
		56・57	ラグランスリーブのコートの縫製
		58・59	ラグランスリーブのコートの縫製
		60	ラグランスリーブのコートの縫製

【成績評価方法】

作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守)
指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

『ジャケット』『コート』『テーラリング』上田安子服飾専門学校 最新版
・教員作成のオリジナルプリント

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式
実物または部分縫いの見本

科目名	クリエイションテクニック I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	120	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムであるシャツ、パンツにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。
また、企業研究に基づいた、各企業に提案出来る創作作品を製作する。

【科目の概要】 ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。

企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	シャツの製図	1・2 創作作品(上田学園コレクション作品または企業アプローチアイテム)の製図
2・3	シャツの裁断	3・4 創作作品(上田学園コレクション作品または企業アプローチアイテム)のパターン
4	シャツの縫製	5・6 創作作品(上田学園コレクション作品または企業アプローチアイテム)の仮縫い
5・6	シャツの縫製	7・8 創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の裁断
7・8	シャツの縫製	9・10 創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の裁断
9・10	シャツの縫製	11・12 創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
11・12	シャツの縫製	13・14 創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
13・14	スラックスの仮縫い準備・仮縫い	15・16 創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
15	スラックスの仮縫い・補正	17・18 創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
16・17	パンツのパターン展開・仮縫い	19・20 創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
18	パンツパターン作成	21・22 創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
19・20	パンツの裁断・縫製	23・24 創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
21・22	パンツの縫製	25・26 創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
23・24	パンツの縫製	27・28 創作作品(上田学園コレクション作品またはアプローチアイテム)の縫製
25・26	パンツの縫製	29・30 創作作品のプレゼンテーション
27・28	パンツの縫製	
29・30	パンツの縫製	

【成績評価方法】

作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守)
指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

『ブラウス』『パンツ』『ワンピース』上田安子服飾専門学校 最新版
・教員作成のオリジナルプリント

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式
実物または部分縫いの見本

科目名	パターンメイキングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	宮田 共子

【科目の到達目標】

理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる

【科目の概要】

時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ダーツ操作のバリエーション	ウエスト	1.2 パターンメイキング概論
2	センター・ゴージ		身頃の展開カット無し+1枚袖 半身トワール組み
3	ショルダー・アームホール		3・4 身頃の展開カット有り+1枚袖 半身トワール組み
4	襟のバリエーション	シャツ・台襟シャツ	5・6 レディス台襟シャツ
5	ステン・リビア		7・8 トワール組、工業パターン作成
6・7	テーラード・ショール		9・10 ジャケット原型・テーラードジャケット・一枚袖
8	袖のバリエーション	フレアー・ランタン	11 二枚袖・一枚袖⇒二枚袖
9	ペタル・タック		12 トワール組み立て準備
10・11	ジゴ・二枚袖		13 トワール組
11・12	ブラウス 製図、パーツパターン		14 工業用パターン作成
13	トワール組(中縫いミシン)		15 工業パターン作成 (見返し、表襟展開)
14	補正後、工業パターン作り		16 メンズシャツ 製図、トワール準備
15・16	創作 上記の中からダーツ操作身頃+襟+袖1		17 トワール組み
17・18	体トワール組・工業パターン作成		18 工業パターン作成
19	ビスチェ 製図、パーツパターン		19 子供服原型、子供台襟シャツ
20	トワール組(中縫いミシン)補正後、工業パターン作り		20 トワール組み
21	パンツ バギー・ベルボトム		21 工業パターン作成
22	ペグトップパンツ・フレアーパンツ		22 ジーンズ
23	スラックスパターン作成(自分サイズ)		23 トワール組み
24	トワール仮縫い準備		24 工業パターン作成
25	仮縫い、補正、		25 テーラードジャケット 3面体マニピレーション
26	ポケット		26 テーラードジャケット 3面体マニピレーション
27	工業パターン作り		27 トワール組
28	裏地		28 工業用パターン作成
29	身頃続きの袖(マチ) 製図、パーツパターン		29 工業パターン作成 (見返し、表襟展開)
30	トワール組み 工業パターン作成		30 まとめ

【成績評価方法】

課題の評価60%
 期末試験の評価30%
 授業態度の評価10%

【教科書・参考書】

服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』 江副玲子『パターンメイキング』 最新版 山路俊美『メンズ製図集抜粋 配布プリント』

【教材・教具】

製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフトテープ
 トワール、シルクピン、ミシン用具

科目名	オートクチュール技術	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
専攻	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	60	作成者	上田久美子

【科目の到達目標】

オートクチュールの意味を理解し 基本的な縫製技術から、高度な縫製技術を修得し、美しいシルエット創りや体型や素材に応じたパターン作製、縫製げ出来る人材の育成。

【科目の概要】

オートクチュール概論、採寸方法、自分サイズボディ、肩パッドの作成技術を修得する。

【授業計画】

90分/コマ

前期

後期

	<p>1・2 概論/ボディ作り 採寸、製図 2名1組で採寸⇒製図</p> <p>3・4 ボディ作り トワール組み立て しろも糸で地縫い⇒組み立て</p> <p>5～10 ボディ作り 仮縫い説明、第一仮縫い 3名1組で仮縫い</p> <p>11～18 ボディ作り 第二仮縫い 3名1組で仮縫い</p> <p>19～24 ボディ作り ボディの削り、綿つみの説明 トワール地縫い、ボディの削り、綿つみ</p> <p>25～28 ボディ作り 付属トワールの説明 衿付け、AHプレート付け、裾テープ付け</p> <p>29～30 肩パッド作り 説明 肩パッド作り方</p>
--	--

【成績評価方法】

課題作品7点の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版
上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版
教員作成オリジナルプリント『オートクチュール技術』

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式
実物作品、部分縫い見本

	ドレーピング I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	渡辺 杉子

【科目の到達目標】

ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに出来る。

【科目の概要】

立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、今日アパレルメーカーで求められるスピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。凸凹のある女性の体(ボディ)に布地(トワール)を合わせてゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期
1、2	「ドレーピング概論」 ・ボディ、トワールの扱い方の講義
3、4	ショルダーカット(ダーツ)
5、6	アームホールカット(ダーツ)
7、8	サイドカット(ダーツ)
9、10	ウエストカット(ダーツ)
11	ステンカラー カットで作った身頃を使用
12	ピーターパンカラー カットで作った身頃を使用
13	台襟付きシャツカラー カットで作った身頃を使用
14	開襟シャツカラー カットで作った身頃を使用
15、16	身頃の復習(ダーツ)
17、18	ジャケット テーラードカラー(ショルダー切替)
19、20	テーラードカラー(上記のジャケット)
21、22	一枚袖(上記のジャケット)
23	タイトスカート
24	タイトスカートのパターンどり
25、26	フレアースカートの製作
27、28	まとめ
29、30	前期試験

【成績評価方法】

課題作品の評価 60% 期末試験 30%・・・評価シートによる 授業研究態度 10%

【教科書・参考書】

江副玲子『ドレーピング』最新版

【教材・教具】

トワール、シルクピン、黒綿テープ、アイシーテープ、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル

科目名	ファッションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	ヌードボディの表現	
3・4	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現	
5・6	着装表現 1(男性的ディテール表現)	
7・8	着装表現 2(女性的ディテール表現)	
9・10	着装表現 3(その他の応用表現)	
11・12	画材表現 1(ガッシュの使い方)	
13・14	画材表現 2(マーカーの使い方)	
15・16	画材表現 3(パステルの使い方)	
17・18	アイテム画の表現 1(ボトムス)	
19・20	アイテム画の表現 2(トップス)	
21・22	メンズ表現	
23・24	キッズ表現	
25・26	デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ)	
27・28	デザイン画選手権の作品製作 2(下絵)	
29・30	デザイン画選手権の作品製作 3(着色)	

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	ファッションデザイン論Ⅱ-D	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	オートクチュールコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	90	作成者	大槻剛

【科目の到達目標】

本授業ではアパレル商品企画・基礎知識を身に付け、自ら企画を立ててニーズに合った企画提案ができ、デザインを考える能力の向上や感性を身につけることを目標とする。

【科目の概要】

アパレル産業におけるデザイン・商品企画に必要な知識と技術を学んでいく。
 デザインするにあたって基本的な仕組みや原理を学び、洋服のデザインに応用する。
 素材の特性を知り、テキスタイルを中心にアパレルデザインを考え企画書としてプレゼンする。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 デザイン論概要
- 2 デザインについて
- 3・4 デザイン演習① ブランドコンセプト
- 5・6 デザイン演習② シーズンコンセプト
- 7・8 デザイン演習③ ブランド研究・リサーチ
- 9・10 デザイン演習④ デザイニング
- 11・12 デザインの領域とアパレルデザイン
- 13・14 デザイン発想①
- 15・16 デザイン発想②
- 17・18 デザイン発想③
- 19・20 コンテスト・コンペデザイン
- 21・22 ブランド企画
- 23・24 ブランド企画
- 25・26 ブランド企画
- 27・28 上田学園コレクションデザイン
- 29・30 上田学園コレクションデザイン

- 31 企業デザイナーの仕事とクリエイション
- 32・33 デザインとテキスタイル①
- 34・35 デザインとテキスタイル②
- 36・37 デザインとテキスタイル③
- 38・39 デザインとテキスタイル④
- 40・41 上田学園プレタポルテ展示会企画
- 42・43・44 上田学園プレタポルテ展示会企画
- 45 まとめ

【成績評価方法】

課題60% 試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】 『ファッションニュース』株式会社INFASパブリケーション

Simon Seivewright『ファッションデザイン・リサーチ』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2011年

Robert Leach『FASHION DESIGN RISOURCE』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2013年

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート 参考プリント 画材

教科名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期 または 後期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2	授業形態	講義100% 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【授業の到達目標】

ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。
市場動向を読み取り、そのコンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。

【授業概要】

ファッショントレンドと素材の関連性を意識、また市場の動向を踏まえながら、
アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 第1週 オリエンテーション
素材とファッショントレンドの関係について
- 第2週 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
- 第3週 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
産地
- 第4週 ■布地 織物
- 第5週 ■布地 編物
- 第6週 布地まとめ
- 第7週 ■糸の種類と太さ
- 第8週 ■繊維の種類と特性
天然繊維(植物繊維)
- 第9週 天然繊維(動物繊維)
- 第10週 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 第11週 化学繊維(合成繊維)
- 第12週 ■素材の機能性
- 第13週 ■生地加工 染色・プリント・仕上げ
- 第14週 総復習(テスト傾向と対策)
- 第15週 総合テスト

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10% 理解力(小テスト,総合テスト)50% 提出物40%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社2012年
- ・田中道一『洋服地の事典』関西衣生活研究所

【教材・教具】

筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80% 実習 20%
時間数	30	作成者	杉本 晋一

【科目の到達目標】

時代によって変遷する服飾デザインと人間の志向してきたイメージを理解する。

また、その時代背景や美術・建築・風俗などの文化状況との関連性から文化装置としてのファッションの意義と役割を考察できる知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。

また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。

【授業計画】 90分/コマ

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 服飾史概論1 |
| 2 | 服飾史概論2 |
| 3 | 服飾の始原
原始の服飾 |
| 4 | 古代エジプトの服飾
古代ギリシア・ローマの服飾 |
| 5 | ゲルマン民族の服飾
中世・中世末期の服飾
演習 |
| 6 | ルネッサンス(イタリア・ドイツ)の服飾 |
| 7 | ルネッサンス(スペイン・英仏)の服飾
演習 |
| 8 | バロックの服飾 |
| 9 | ロココの服飾 |
| 10 | フランス革命の服飾
演習 |
| 11 | ロマンチック時代の服飾 |
| 12 | 19世紀後半から20世紀初頭の服飾 |
| 13 | デザイナーの登場
シャネルとスキヤパレリ |
| 14 | テスト |
| 15 | 戦後から現代の服飾 |

【成績評価方法】

平常点 20% 課題20% 期末試験 60%

【教科書・参考書】

小西松茂『西洋服飾史』服飾手帖社 昭和50年,

【教材・教具】

筆記用具

科目名	コンピュータ演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	安田 圭織

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。
 アパレルCADを利用したパターンを作図する方法を理解する。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。
 このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、
 使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

【授業計画】 90分/コマ

1		自己PRシート作成(写真を撮影し画像処理)
2		” ロゴマーク作成
3		ポートフォリオ作成 ポートフォリオの考え方(要素・機能・効果)
4		” スキャナーなどからの画像の取り込み方(画像解像度を理解する)
5		” レイアウトの基礎マップ作成 Photoshopを使った画像合成
6		” ハンガーイラストの描き方 Illustratorを使ったペンツールなどのテクニック
7		” デザイン画の着色方法 線画に着色、柄を作成し着彩する
8		” Photoshop作成画像をIllustratorでレイアウトするしポートフォリオを完成する
9	CAD	タイトスカート パターン作成(Pattern Magic)
10		ハンガーイラスト作成(縫製仕様書)
11		タイトスカート2本ダーツ製図
12		表地工業用パターン作成 裏地工業用パターン作成
13		マーキング(Marker Magic) 仕様書指示書作成
14		まとめ
15		テスト

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

コンピュータ演習*アパレルCAD*

【教材・教具】

プリント配布 データ配布 フラッシュメモリ 筆記用具

科目名	ファッションビジネス論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	中村 賢

【科目の到達目標】

アパレル業界で役立つ知識の構築。

【科目の概要】

アパレル業界に必要なキーワードとファッションの流れを解説。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 【オートクチュールとプレタポルテ】
【ファッション界をリードする世界5大コレクション】
- 2 【世界のラグジュアリーブランド勢力地図】
【デザイナーを支える世界の見本市】
- 3 【業界人必見のファッション見本市JFW-IFF】
【マーケティング】
- 4 【ブランド開発】 ⇒ 以上7項目小テスト
- 5 【日本の合繊産業】
【紡績】
- 6 【テキスタイル産地】
【染色加工業】
- 7 【商社】
【構築進むSCM】
- 8 【重要性高まる物流、加工】
⇒ 以上7項目小テスト
- 9 【戦後日本のアパレル産業史】
【技術革新の波に乗り合繊登場】
- 10 【既製服化ノ向上ヲ支えた小売業】
【舶来からインポートへ】
- 11 【ファッションの流れ1970～2014】
- 12 【ファッションの流れ1980～1990】
- 13 【ファッションの流れ1990～2000】
- 14 【ファッションの流れ2000～2015】
- 15 テスト

【成績評価方法】

課題評価50% 試験評価40% 授業研究態度10%

【教科書・参考書】

書籍『よくわかるアパレル業界』

【教材・教具】

科目名	クリエイティブワーク	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期 後期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義10% 実技90%
時間数	30	作成者	小川雄士

【科目の到達目標】

衣装分野に特化した縫製・装飾メインの授業。(ウェディング・フィギュア・バトン・チア・社交ダンス・舞台衣装 他) 就職先、または独立後に即戦力になる技術と知識を習得。
正確性、スピード、美、を求められるシーンでのあらゆるテクニックと感性を磨く。

【科目の概要】

今日のファッション業界は既存の技術や知識、感性だけでは生き延びれなくなっている為、他社(他者)との差別化を図る為の授業が必要。「作る」だけではなくビジネスとして成功する為の感覚を養う。日本のみならず、世界の舞台でも通用するような人材を育成。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	【オリエンテーション】 自己紹介。カリキュラムの説明 実物の衣装や装飾品等に触れる	
2・3	【テクニック・装飾】 ・企業に勤めた時に役立つテクニック各種 ・主にラインストーンの装飾技術習得	
4	【デザイン・パターン・裁断・素材・道具】 ・デザイン性と機能性のバランスを考案 ・衣装を作る為の準備、心構え	
5・6・7	【縫製】 ・ストレッチ素材、薄手素材、特殊素材 作 ・各パーツ毎に分けた技術習得	
8	【講義】 ・就業時に学んだものを後世に伝える ・一点ものの面白さと難しさ ・ビジネスで成功する為の秘訣、裏技等	
9・10・11	【縫製・装飾】 ・裾や裏の始末他、アクセサリ製作 ・自ら縫製したアイテムの装飾	
12	【復習】 ・過去の復習、おさらい、調整	
13・14	【自由課題・プレゼン】 ・個々で作品制作。将来のブランドを意識	
15	【テスト・講義】 ・半期の総まとめ。社会に出る為の準備	

【成績評価方法】

提出物評価50% テスト20% プレゼンテーション10% 授業態度20%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

筆記用具・縫製道具・生地・装飾品・衣装など